

株式会社 近藤紡績所 (コンドウボウセキショ)

■「100年モノづくりを続けてきた綿紡績企業として、次の100年も事業を続けていきたい」
創業100有余年、紡績事業を基盤に、アパレル事業、不動産事業の3分野を展開しています。綿から糸を紡ぐ紡績事業は、長年にわたり培ってきた伝統技術だけでなく、丁寧で真面目なものづくりの姿勢が認められ、厳しい状況が続く繊維業界においても、大きなビジネスチャンスを生んでいます。

■若手スタッフを中心とした新プロジェクトが始動

紡績事業の職人たちはこれまでもずっと、どこにも負けない高品質の糸を紡いできました。しかし糸は生地加工され、さまざまな製品に姿を変え、はじめて消費者の手に渡ります。もっと消費者とつながりたい、この技術を世界に発信したい…。この一心で、新しいプロジェクトに挑戦。どれも若手スタッフが中心となり、自由な発想で新しい風を送り込んでいます。「ベテランたちの知恵と伝統技術＝肥沃な土壌」を武器に、さらに大きな花を咲かせてくれることでしょう。

<プロジェクト1:watanomama(わたのまま)>

ふわふわの綿毛をそのまま身にまとえたら。そんな思いから生まれたオリジナルブランドです。2年あまりの歳月をかけて開発した技術は、特許を取得。今までにないやわらかな着心地を実現したルームウェアやパジャマをオンラインで販売しています。

<プロジェクト2:renment(レンメント)>

綿を栽培している方、それを運ぶ方、さまざまなシーンで誇りを持って働いている方、そういう人たちを結ぶプロジェクトです。もっと良いものを、もっと面白いものを作ることで、関わるすべての人をつなげていきたい。そういう想いが込められています。

■世界最高峰の海島綿を日本で唯一取り扱う

2020年には、西印度海島綿協会とパートナーシップを結び、世界最高峰の超長綿である海島綿(シーアイランドコットン)を中心としたプロジェクトを進行中です。世界で一番貴重な綿である海島綿を取り扱えるのは世界で3社。日本では、当社が唯一認められています。これからも当社にしかできないことを追求し、人に寄り添い心を動かすものづくりを続けていきたい。そしてそれを世界に発信するため、柔軟な発想を生かして活躍してくれることを期待しています。

【勤務地】国内工場(長野県大町市・徳島県)、本社(愛知県名古屋市)、アパレル事業部(大阪・東京)、R&Dセンター(繊維学部Fii406号室、栃木県足利市) 海外工場(中国・ベトナム・インドネシア)。

【ホームページ】 <http://www.kondobo.co.jp/>

【本社住所】 愛知県名古屋市中区丸の内2-18-25 丸の内KSビル8階

【資本金】 1億円 【従業員数】 450名(国内)1350名(海外)

【売上高】 114億円(2023年1月期) 【募集職種】 技術系総合職

【特色】 繊維学部OB・OG多数(現役20名)在籍、各事業部で活躍中

